

世界遺産「神宿る島」 宗像・沖ノ島と関連遺産群



宗像大社沖津宮(沖ノ島)



今年7月9日17時47分（日本時間）、ポーランドのクラクフで開催された第41回世界遺産委員会において「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の8つの構成資産すべてを登録決定とする木槌が振り落とされました。

本遺産は、航海の安全と国の安寧を祈願する信仰が古代から現在まで断絶なく続いていることを示す遺産で、この航海に関する遺産として世界遺産一覧表の質の向上に貢献すると評されました。

寄稿…宗像市都市戦略室 秘書政策課

の構成資産を紹介します。

1～8の順番は、資産に付された番号です。

1

沖ノ島

(宗像大社沖津宮)

古代の日本(倭)は、新たな技術や思想、物を取り入れるため盛んに中国大陸や朝鮮半島との海を介した交流を行っていました。

荒波で知られる宗像沖の海域に浮かぶ沖ノ島では、航行の際の道標となり、航海安全と国の安寧を願う国家的祭祀が執り行われました。

宗像の人びとは、島を神聖な場として禁忌などで守り、結果、古代の情景をそのままに今に伝え残してきました。



6

宗像大社中津宮

宗像大島の最高峰、御嶽山からは、九州本土はもちろん壱岐対馬や沖ノ島を見渡すことができ、その間を行き交う船も望めます。

古代も同じ情景だったこの場所では沖ノ島と同様の祭祀がはじまり、御嶽山の麓に社殿が建てられ、今もお続く航海安全と国の安寧を願う信仰の場です。



7

宗像大社辺津宮

パワースポットで知られる辺津宮境内にある高宮祭場周辺は、古代の沖ノ島と同じ祭祀が行われていた信仰の場でした。

その後、社殿が建ち、三宮を祀る総社となつて、今もお続く航海安全、国の安寧の信仰の場です。



世界的な価値を証明する8つ



- 2 小屋島こやじま
- 3 御門柱みかどばしら
- 4 天狗岩てんぐいわ（宗像大社沖津宮）

小屋島、御門柱、天狗岩（写真右から）は江戸時代の地誌に、この3つの岩礁が沖ノ島の鳥居の役割を果たしていたと記されています。

現在もお、神職を運ぶ船は、この岩礁の間を通って神の宿る沖ノ島へ向かっています。



- 5 宗像大社沖津宮遙拝所

沖津宮遙拝所から沖ノ島までは、約49km、空気の澄んだ日には直接ここから島を見ることが出来ます。

沖ノ島に宿る神への祈りを捧げるために、18世紀ごろ大島北岸に設置された沖津宮遙拝所は、今も多くの参拝者が訪れる生きた信仰の場です。



- 8 新原・奴山古墳群しんばる・ぬやま

玄界灘を望む台地上に古墳を築いた古代豪族宗像氏は、大陸へと続く海域の水先案内を担い、沖ノ島での祭祀を執り行っていました。

航海安全を願う信仰を生み、宗像三女神信仰へと発展させた宗像氏を証明する物証です。



1

宗像大社秋季大祭

宗像大社秋季大祭は、毎年10月1日から3日にかけて行われる宗像地域最大のお祭りです。

大祭は「みあれ祭」からはじまります。15世紀ごろ行われていた「御長手神事」を再興したお祭りで、沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神、そして辺津宮の市杵島姫神が年に一度お集まりになる神事です。大島から九州本土へは、宗像七浦の漁師船百隻余りの船団によって神様をお連れします。

辺津宮に神様が到着すると、主基地方風俗舞が始まります。昭和天皇即位の大嘗祭に際して行われた神楽舞です。

辺津宮境内では、流鏑馬や翁舞、地元女子中学生が舞う浦安舞などの神事が続きます。3日目の夕刻には、高宮祭場を舞台に4人の巫女による悠久舞が披露され、この神奈備祭をもって秋季大祭の終わりを告げます。



4



3



2



6



5

1. みあれ祭
2. 主基地方風俗舞
3. 流鎗馬
4. 高宮神奈備祭
5. 浦安舞
6. 翁舞



神のまち 宗像を巡る ―本土編―

世界遺産に登録された「神宿る島」沖ノ島は、一般の人の立ち入りはできませんが、宗像の本土でも世界遺産に触れ感じることができるスポットを紹介します。

宗像大社辺津宮

宗像三女神の末女神、市杵島姫神をお祭りする辺津宮は、国家安寧や航海の安全を祈願してきた歴史に由来して「道の神様」として信仰を集め、福岡では「交通安全の神様」としても親しまれています。ご神門や本殿の屋根の横には「菊のご神紋」が飾られており、皇統守護を由緒とした格式の高さがうかがえます。宗像大社の「櫛の葉紋」は、裏紋として用いられて、境内には神木である櫛の木を見ることができます。

住所／宗像市田島2331
電話番号／0940-62-1311
HP／<http://www.munakata-taisha.or.jp/>



高宮祭場

宗像三女神の降臨の地と伝えられ、沖ノ島と並び我が国の祈りの原型を今に伝える古代祭場です。現在でも毎月1日・15日には神事を行っています。木々に囲まれ荘厳な雰囲気をもつこの場所は、心を清浄してくれるようなパワースポットとして多くの参拝者が訪れます。

神宝館

古代から続く宗像三女神への篤い崇敬を物語る数多くの貴重な神宝や文化財を収蔵・展示。展示の中心となる沖ノ島出土の国宝を見ると古代人の文化・技術の高さを感じさせます。

住所／宗像大社辺津宮境内
営業時間／9:00～16:30(最終入館16:00)
定休日／なし
拝観料／大人800円、高・大学生500円、小・中学生400円
※幼児は無料。20人以上は1名につき200円引き

▲国宝・金製指輪



▲金銅製龍頭



▲三角縁神獣鏡



大和朝廷による国家祭祀が沖ノ島で行われ、膨大な奉獻品が捧げられました。出光佐三氏の支援で発掘調査された沖ノ島の出土品約8万点はすべて国宝に指定されています。

さつき松原

鐘崎と神湊の間にある弓状の海岸に続く松原は、日本の白砂青松100選のひとつです。約1.5キロの遊歩道では、目の前に広がる美しい海と大島や地島が見渡せる眺望とウォーキングやサイクリングを楽しめ、夕方に訪れると素晴らしい夕日を眺めることができます。晴れた日には、沖ノ島の島影を望むことができる隠れスポットです。



出光佐三氏



赤間宿に残る出光佐三氏生家

映画化もされた小説「海賊とよばれた男」のモデルとなった出光興産の創業者・出光佐三は、宗像郡赤間村（現・宗像市赤間）に生まれました。出光佐三が赤間に暮らしたのは幼少の頃だけですが、実業家になってからも宗像の地と歴史を愛し、その地元愛は沖ノ嶋丸、玄海丸などの所有タンカーの名前を始め、市内各所にも残されています。また、出光佐三は宗像大社への信仰篤く、長い年月を経て傷んでいた宗像大社辺津宮の社殿の再建を始め、沖ノ島発掘調査の費用などを寄進しました。今年7月に決定した世界遺産登録も出光佐三をなくしては成しえなかったことでしょう。

唐津街道赤間宿

黒田の殿様も大名行列で通った唐津街道。その宿場町のひとつ「赤間宿」は、兜づくりの商家や白漆喰の白壁が並ぶ風情が残る街です。街道筋には江戸時代からの由緒ある神社仏閣や、辻井戸、酒蔵などが並び、最近ではおしゃれな雑貨屋やコーヒーの焙煎ショップなど、新しい店もオープン。宿場町の風情を感じながら、ぶらりと歩いてみませんか。

街道の駅赤馬館

食事・土産物、宗像の偉人や歴史についての展示室、様々な企画展など、楽しみ所・見所が満載です。和服で街歩きできる和装体験もあります。

住 所／宗像市赤間4-1-8
電話番号／0940-35-4128
営業時間／10:00～17:00
定 休 日／月曜（祝日の場合は、翌平日）
H P／<http://www.akamakan.info>



伊豆本店

清酒「亀の尾」は神の郷・宗像に生まれ今年で300年。2月下旬の蔵開きでは、各種日本酒、甘酒の試飲や酒まんが人気です。かやぶき屋根と「カメノオ」と書かれた煙突が目印です。

住 所／宗像市武丸1060
電話番号／0940-32-3001
定 休 日／日・祝



勝屋酒造

寛政2年創業、唐津街道・赤間宿にあり、酒名の「^{なら}檜の露」は宗像大社の神木「檜ノ木」よりいただいたもので、御神酒として奉納しています。2月に開催される蔵開きは約2万人もの人で賑わいます。

住 所／宗像市赤間4丁目1-10
電話番号／0940-32-3010
営業時間／8:30～17:00
定 休 日／日・祝、土は不定休



Event

正助ふるさと村2017秋のよくばり祭

10月22日(日) 9:00～15:00 ※雨天決行

食べて・見て・参加して、子どもから大人まで楽しめる遊び心満載のまつり! 目玉は宗像市・鞍手町・直方市のブランド牛を集めた「肉まつり」。むなかた牛・ふるの牛・レングスステーキの食べ比べ! 宗像の海と山の幸に加えて、ステージイベントなども楽しめる「よくばりな祭」です。

問合せ先／正助ふるさと村 TEL 0940-35-1100
会 場／正助ふるさと村(住所:宗像市武丸199)



Event

唐津街道むなかた 赤間宿 秋の3まつり競演

11月5日(日)

赤間宿通りの秋のイベント。朝から夜までプログラム盛りだくさんの一日です。秋の賑やかな赤間宿をぜひお楽しみください。「九州大道芸まつりin宗像」はバナナの叩き売り、南京玉すだれ、ジャグリング、猿回しなど、パフォーマンスのバリエーションも豊富。3周年を迎える「街道の駅・赤馬館周年感謝祭」では名物の赤馬ぜんざいのほかにも、ミニコンサートや和服来場者特典など。「夢灯笼まつり」は、熊越池公園を中心に広がる竹灯笼の幻想的な世界。ステージ発表や屋台もあります。

問合せ先／赤間地区まつり実行委員会 TEL 0940-39-7051



② 砲台跡

昭和11年に作られたもので、分厚いコンクリートの基礎部分や、観測所は当時の姿を色濃く残しています。また周辺は、季節の花々で彩られます。



① 沖津宮遙拝所

沖津宮遙拝所は、通常、上陸できない沖ノ島を参拝するために、18世紀頃建てられたものです。また天候の条件がよければ、遙拝所から49km先の直線上に、沖ノ島を望むことができます。



③ 大島交流館

7月15日、宗像市大島のかんす海水浴場前に、大島交流館が開館しました。この施設は、大島の自然、歴史、沖ノ島との関わり、島の人たちの暮らしぶりなど、大島の様々な魅力について、映像やパネル展示などを通じて紹介しています。また、週末には地元島民によるガイドも常駐しており、充実した解説を受けられます。なかでも大型スクリーンを使用した映像展示は、実際にその場にいるかのような、リアリティ溢れる大迫力の映像をご覧いただけます。さらに大島の新たな魅力を発掘する特別展やイベントも随時実施しており、訪れるたびに今まで知らなかった大島の一面を知ることができます。

住 所／宗像市大島901-4

電 話／0940-72-2797

定休日／火曜日



⑤ 宗像大社中津宮

宗像三女神の次女神を祀る宗像大社の一社です。境内には、「天の川」が流れ、その両脇には彦星を祀る「牽牛社」と織姫を祀る「織女社」があることなどから、「七夕伝説発祥の地」ともいわれています。



④ うみんぐ大島

豊かな大島の自然を生かして作られた海洋体験施設で、中心となる施設は長さ300mの大きな防波堤と72人が収容できる釣堀です。またシーカヤック、ろこぎ体験、磯観察など、子どもから大人まで年齢を問わず楽しめます。

住 所／宗像市大島1822-4

電 話／0940-72-2361

定休日／火曜日

H P／<http://umi-ing.com>



⑦ 大島灯台

灯台は大正15年に初点灯し、沖ノ島の灯台に呼応して沖行く船の航海を休むことなく見守っています。またその東側にある馬蹄岩は神代の昔、宗像三女神の長女神である、田心姫神が馬に乗って沖ノ島へ飛び渡った時にできた馬の足跡だと伝えられています。



⑥ ふれあい牧場

風車展望所へ続く道沿いにある「ふれあい牧場」では、柵越しにポニー、ヤギ、ミニブタとの触れ合いを楽しむことができます。また、運が良ければ、放牧された牛を間近で見られるかもしれません。



⑧ 風車展望所

大島のシンボルである風車展望所は島の北部、大島むかたの牧場を通る遊歩道を歩いていくと、小高い丘の上に見えてきます。海を望む最高のロケーションで、天候の条件が良ければ、沖ノ島を見ることができます。



大島観光バスで
観光しよう♪



INFORMATION インフォメーション

- 観光のお問い合わせ（おおしま観光売店・案内所） **0940-72-2226**
(レンタサイクル貸し出し有り)
- 道の駅むかた観光情報コーナー **0940-62-3811**
- うみんぐ大島 **0940-72-2361**
- 市営渡船のお問い合わせ（大島港渡船ターミナル） **0940-72-2535**

Transportation 交通

■宗像市営大島航路時刻表

便名	神湊発	大島発	摘要
1	7:40	6:50	フェリー「おおしま」
2	9:25	8:35	フェリー「おおしま」(旅客船「しおかぜ」)※
3	11:15	10:15	旅客船「しおかぜ」
4	13:50	13:00	フェリー「おおしま」
5	15:30	14:40	旅客船「しおかぜ」
6	17:10	16:20	フェリー「おおしま」
7	19:00	18:00	フェリー「おおしま」

※地島航路のフェリー就航日の大島航路・第2便は、しおかぜで運航します。
※所要時間はフェリーで約25分、しおかぜで約15分
※料金(片道)大人560円 子ども280円

■レンタサイクル(電動アシスト)をご利用の場合

受付: 大島観光案内所(大島渡船ターミナル内)
時間: 8:00~16:00
料金: 1回500円

■大島観光バス(グランシマール)時刻表

停留所	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
大島ターミナル	10:10	10:50	11:50	13:00	13:40	14:30	15:10
大島交流館	10:13	10:53	11:53	13:03	13:43	14:33	15:13
沖津宮遙拝所	10:17	10:57	11:57	13:07	13:47	14:37	15:17
御嶽山入口	10:21	11:01	12:01	13:11	13:51	14:41	15:21
砲台跡	10:24	11:04	12:04	13:14	13:54	14:44	15:24
御嶽山入口	10:27	11:07	12:07	13:17	13:57	14:47	15:27
沖津宮遙拝所	10:31	11:11	12:11	13:21	14:01	14:51	15:31
大島交流館	10:35	11:15	12:15	13:25	14:05	14:55	15:35
物産直売所	10:38	11:18	12:18	13:28	14:08	14:58	15:38
神湊港行渡船	13:00発			14:40発		16:20発	

※1乗車につき300円、1日乗車券700円

(2017年9月現在)

神のまち 宗像を食す — 鮮魚編 —



宗像市は福岡県内で第1位、全国でも有数の天然フグ類の水揚げ量を誇ります（農林水産省海面漁業生産統計調査 参考）。玄界灘の荒波でもまれ育ち、きめ細かい身質や艶やかさが魅力のフグは鐘崎漁港で水揚げされます。鐘崎のフグの中でも、「香り」「旨み」「身のしまり」「歯ごたえ」など、最高品質を誇るトラフグは「鐘崎天然とらふく」として大半が東京や大阪の高級料亭に出荷されます。例年、10月上旬から「鐘崎天然ふくフェア」が、2月上旬から「鐘崎天然とらふくフェア」が開催されます。フェア参加飲食店舗で鐘崎のフグを堪能できます。

夏から秋にかけてが特に美味しい「活きイカ」。沖合約60キロにある「沖ノ島」近海で鐘崎漁港のイカ船団が釣り上げる「活きイカ」は、透き通った身の美しさ、口に入れた時のコリコリとした食感は絶妙で、甘くとろりとした味わいが特徴です。こういった地魚をふんだんに使った「大漁膳」や旬の魚が彩る刺身定食は、市内の飲食店などで気軽に食べることができます。

ぜひ、海の幸が贅沢に味わえる宗像へどうぞお越しください。

第37回 全国豊かな海づくり大会 ～育もう 海人 地域 みんなの未来～ 福岡大会

10/28(土)・29(日) 開催
メイン会場 宗像市

「全国豊かな海づくり大会」とは、水産資源の保護・管理と海や河川的环境保全の大切さを広く国民の皆さまに伝えるとともに、漁業の振興と発展を図ることを目的に、例年、天皇皇后両陛下のご臨席のもと開催されている国民的行事です。

10/29(日)

式典行事 宗像ユリックス本館

豊かな海づくりに功績のあった団体などの表彰、最優秀作文の発表、若手漁業者のメッセージ発表、大会決議などを行います。
(招待者のみ参加できます)

10/29(日)

海上歓迎・放流行事 鐘崎漁港

豊かな海づくりの象徴としてトラフグやマダいの稚魚の放流を行うとともに、漁船などによる海上パレードを行います。
(招待者のみ参加できます)

10/28(土)・29(日)

関連行事「豊かな海づくりフェスタinむなかた」
宗像ユリックス屋外施設

地元農林水産物や加工品・特産品の販売、タレントトークショーなどのステージイベント、ミニ水族館、環境保全の取組み展示、海や川に棲む生き物に触れ合える体験コーナー、式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継など楽しい催しが盛りだくさんです。(どなたでも参加できます)

宗像市 全国豊かな海づくり大会準備室

〒811-3492 宗像市東郷1丁目1-1

電話:0940-36-9507

開庁時間 8:30～17:00 土曜、日曜、祝日、年末年始を除く



4



5



6

1.トラフグ 2.トラフグ刺し 3.トラフグ鍋 4.トラフグ刺し
5. 活きイカ造り 6. 大漁膳

神のまち 宗像を食す

— お土産編 —

JA
むなかた

むなかた産米 (300g)



むなかた産黒酢
(300mL)



むなかた醤油
(100mL)



おいしいものが満載
「むなかたのめぐみ」シリーズ

福岡県の宗像市と福津市で栽培される野菜や果物たち。そのどれもが古より神に守られた自然豊かなむなかたの地で育まれたものばかりです。大切に育てた素材で作るJAブランドのおいしいお土産をどうぞ。

●JAむなかた「むなかたのめぐみシリーズ」
問合せ先: TEL 0940-36-2371
※新パッケージへは随時移行予定です。
移行後、価格が決定します。



左から、
とっておきいちじくジャム (120g)
とっておきトマトジャム (120g)
とっておきあまおうジャム (120g)



むなかた産大豆フクユタカ100%
ちよっとみそ「麦」 (各300g)
ちよっとみそ「米」



シマフグの炙り刺し 2~3人前
3,500円 (冷凍) ※写真は6~7人前

アナゴの季節が終わると、次はフグの季節がやってきます。玄界灘の荒波にもまれた、鐘崎の天然フグの身はきめ細かくつややか。炙りにすることで、フグの旨みを凝縮した一品に仕上げました。「鐘の岬活魚センター」では、2~3人前を購入することができます。



アナゴの一夜干し 1,080円 (冷凍)、
煮アナゴ 1,280円 (冷凍)

宗像で水揚げされるアナゴは福岡県内で第1位の水揚げ量を誇ります。玄界灘の荒波にもまれて育った宗像のアナゴは、程よく脂ののって引き締まった身が魅力です。



鐘の岬活魚センター

鐘崎漁港にあり、宗像漁協が直営する販売施設です。市内の漁港で水揚げされる旬の水産物を取り揃えています。生簀で生かして販売しているため、鮮度は抜群。その新鮮な水産物を使った加工品です。

住 所 / 宗像市鐘崎778-5
T E L / 0940-62-1570
営業時間 / 9:00~16:00 (定休日: 水曜日)
HP / <http://www.jf-munakata.jp/>



ふくふくしゅうまい
1,280円 8個入 (冷凍)

玄界灘の荒波でもまれ身のしまったフグを贅沢に使った宗像漁協手作りのしゅうまい。他と一味違う高級感あふれるしゅうまいです。



いかしゅうまい
1,080円 8個入 (冷凍)

玄界灘の新鮮なイカを贅沢に使った宗像漁協手作りのしゅうまい。イカの食感と風味が口の中で広がります。



ふくカレー
600円 200g (常温)



ふくだし
350円 200g (常温)



あごだし
850円 8g×10袋

地だこしゅうまい 1,080円 8個入 (冷凍)

玄界灘の新鮮な地だこを贅沢に使った宗像漁協手作りのしゅうまい。タコの食感と風味が口の中で広がります。



沖ノ島朱タンブラー 2,700円～

赤の原料の調合に宗像沖ノ島近海の海水から作られた天然塩を使用し、粋工房が独自に調合し作り上げた「沖ノ島朱」。悠久の歴史ある宗像の海の恵みが朱に独特の色合いを与えます。

●粋工房株式会社
住所／宗像市田野2331
TEL／0940-62-0272



宗像卵の醤油カステラ 324円

宗像の老舗醤油屋さんの醤油を使用した、ほんのり香る醤油としっかりとった味わいの醤油カステラ。宗像の自然豊かな素材を使用したスイーツは抜群です。

●スイーツ工房 BENY
住所／宗像市赤間駅前1丁目9-1-1
TEL／0940-36-9068



あまおう甘酒 540円

宗像産あまおういちごを贅沢に使ったフルーティーな甘酒。今女性に大人気です。

●マルヨシ醤油株式会社
住所／宗像市上八1540
TEL／0940-62-3322



**むなかたアートコレクション
通称「むなこれ」**

「ものづくり」に携わる人達の商品を集め、これを多くの人達に見て・触れて頂く為に様々な場所でイベントや催事に参加しているグループです。



きなこ金平糖・塩金平糖 各648円

宗像産のきな粉パウダーと大島産の塩をコーティングした金平糖。自然な味わいが人気で手土産にも最適です。

●antenna310
住所／宗像市武丸987-2
TEL／0940-35-5452

神郡宗像キーホルダー 648円

沖ノ島の出土品の文様のモチーフに、なめても安心な木のキーホルダーに刻印しました。やさしい手ざわりにこだわって製作しています。

●工房 茶輪子
住所／宗像市田島952-17
TEL／0940-62-2526
H P／http://charin-ko.com/



沖ノ島の一滴 700円(100ml)

代々の当主が明治の味をにがさず今に残しつつ、商品開発に取り組んでいます。宗像産丸大豆醤油と沖ノ島近海から汲んできた海水から作る塩を使った、宗像を代表する4社が共同開発した、新しい宗像の歴史が詰まった一本です。

●片山醤油店
住所／宗像市宮田1-16-10
TEL／0940-32-3955



宗像わかめんべい

大 1,300円 (16袋・32枚入)
小 650円 (8袋・16枚入)

福岡の人気商品「めんべい」に宗像産の天然わかめを加えたご当地めんべい。磯の香りが食欲をそそります。

宗像あなごめんべい

大 1,080円 (12袋・24枚入)
小 540円 (6袋・12枚入)

宗像のご当地めんべい第2弾。県内1位の水揚げ量を誇る宗像産天然あなごを存分に使用。あなご蒲焼の旨味・甘みと、ピリ辛の明太子がマッチした新しい味わいです。



七つ星の雫 700円 7個入

七つの星をつなぐと水にくむ「ひしゃく」の形に見える北斗七星。宗像市では北斗七星がまるで水にくんでいるように水平線を通して「北斗のみずくみ」を見ることができます。そんな現象をモチーフにしたチョコレートクランチです。

宗像マシュマロ 540円 7個入

(株)石村萬盛堂と道の駅むなかたのコラボ商品です。チョコレートクリームをふんわりマシュマロで包み込み、個包装にしています。

**道の駅
むなかた**

宗像の「海の幸」「山の幸」をたっぷり味わえる道の駅むなかた。玄界灘の荒波で揉まれた活きのいい魚と宗像の自然の恵みで育まれた農産物等を数多く取り揃えています。物産直売所ならではの特産品の販売、宗像の漁師料理・農家料理の味を楽しめるレストランに加え、白砂青松100選にも選ばれた樹齢200年以上の黒松並木が5kmにわたって続く「さつき松原」に隣接した眺望に優れたロケーションも見どころのひとつです。

住所／宗像市江口1172番地
TEL／0940-62-2715
営業時間／9:00～17:00(10月～翌年5月)
8:30～17:00(6月～9月)
HP／http://www.michinoekimunakata.co.jp
Facebook／http://facebook.com/michinoeki.munakata/